

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 1 月 19 日(水) ~ 平成 23 年 1 月 25 日(火))

平成 23 年 1 月 26 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- H- B ロケット 2 号機による宇宙ステーション補給機「こうのとり」2 号機(HTV2)の打上げ成功について
JAXA は、平成 23 年 1 月 22 日 14 時 37 分 57 秒(日本標準時)に、種子島宇宙センターから宇宙ステーション補給機「こうのとり」2 号機(HTV2)を搭載した H- B ロケット 2 号機を打ち上げ、打上げ後約 15 分 13 秒に HTV2 を分離した。
また、HTV2 の分離後、第 2 段機体の 2 回目の燃焼を行い、計画通り制御落下実験が行われたことを確認した。

宇宙開発に関する海外の動向

- 欧州宇宙機関 2011 年度の予算等を発表 【欧】
1 月 14 日(金)、欧州宇宙機関(ESA)は、2011 年度の予算発表等を行った。予算総額は約 39 億 9,380 万ユーロ、前年度比約 6.7 %増。主なプログラム予算は以下の通り。

プログラム	予算額 (百万ユーロ)	比率 %	対前年 増減率%
ロケット開発	612.5	15.3	+ 8.1
地球観測	843.9	21.1	+ 19.1

有人飛行	410.9	10.3	+ 24.4
航行プログラム	665.7	16.7	- 6.8
科学プログラム	464.8	11.6	+ 13.5

- NASA、小型衛星「NanoSail-D」の科学技術衛星「FASTSAT」からの放出を確認 【米】
1 月 19 日(水)、NASA は、科学技術衛星「FASTSAT (Fast, Affordable, Science and Technology Satellite)」に搭載されて 2010 年 11 月 20 日に打ち上げられた後、FASTSAT からの放出に失敗したとみられていた小型ソーラーセイル技術実証衛星「NanoSail-D」について、1 月 17 日に自発的に放出されたと発表した。同機は 1 月 21 日 3 時 0 分にセイルの展開を完了し、低軌道上を飛行中。今後 70 ~ 120 日間軌道上に滞在し、セイルを利用した推進剤無しでの軌道離脱のための速度減少の実証試験を行う予定。
- デルタロケットによる軍事衛星の打上げに成功 【米】
1 月 20 日(木)21 時 10 分(世界標準時、以下同じ)、United Launch Alliance(ULA)社は、バンデンバーグ空軍基地よりデルタ 4 重量級ロケットを打ち上げ、米国家偵察局(NRO)の機密軍事衛星「NROL-49」の所定の軌道投入に成功した。
- ゼニットロケットによる静止気象衛星の打上げに成功 【露】
1 月 20 日(木)21 時 29 分、ロシアは、バイコヌール宇宙基地よりゼニット 2/フレガトロケットを打ち上げ、同国の静止気象衛星「エレクトロ L (Electro-L)」の所定の軌道投入(静止トランスファ軌道)に成功した。打上げ時の質量は約 1,700 kg。